

**地方独立行政法人広島県立病院機構会計監査人業務
公募型プロポーザル選定委員会議事要旨**

項 目		内 容
1	日 時	令和7年5月26日 9時30分から11時40分まで
2	場 所	広島県庁庁舎本館5階 局議室
3	出席委員	<ul style="list-style-type: none"> ・健康福祉局医療機能強化担当部長（委員長） ・会計管理部会計総務課長 ・監査委員事務局監査統括監 ・健康福祉局健康福祉総務課長 ・健康福祉局医療機能強化推進課長
4	議 題	地方独立行政法人広島県立病院機構会計監査人業務の企画提案内容の審査
5	担当部署	健康福祉局医療機能強化推進課
6	開催方法	参集
7	議事内容	<p>1 審査方法 提出された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最も得点が上位の提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p>2 審査結果</p> <p>(1) 審査対象者（提案書提出順）</p> <ul style="list-style-type: none"> ア A社：EY新日本有限責任監査法人 イ B社：有限責任監査法人トーマツ ウ C社：太陽有限責任監査法人 <p>(2) 審査対象者の評価値 別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。</p> <p>(3) 最優秀提案者及び選定理由</p> <p>ア 最優秀提案者 B社：有限責任監査法人トーマツ</p> <p>イ 選定理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ A社とB社は、ともに提案内容がよかったが、B社は法人の現状や特性をより詳しく理解している。 また、B社は新病院の整備に関する提案や、設立初年度に課題となる決算について、プレ決算を実施するという提案が評価できる。 ○ 一方で、C社においては、近年の地方独立行政法人や病院への監査実績が他の2社と比べると乏しく、本事案への理解も不十分である印象を受けた。